

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 内科領域における原因不明発熱の臨床的解析

研究の目的

診断が難しい病態のひとつとして、原因不明の発熱（不明熱）があります。近年、PET-CT や遺伝子検査など、診断法の進歩や病気の認知度の普及により、不明熱の原因疾患の診断法や治療法が大きく変化しています。また、家族性地中海熱などの患者さんの増加によって、古典的不明熱の診断基準に当てはまらない周期熱の存在が重要視されるようになってきています。さらに、機能性高体温症（心因性発熱）のように、既知の検査項目に異常がなく、ストレスにより高体温となる病態も認知されるようになってきました。そういった場合を含む、原因不明の発熱で紹介となった患者さんの発熱の原因を疾患別に分類し、それぞれの臨床的特徴の解析を行い、診断に最も有用な検査法などを明らかにして、より適切な診断と早期の治療を可能とすることを目的とします。

研究実施期間： 実施許可日 ～ 2030 年 3 月 31 日

対象となる方： 2008 年 1 月 1 日から 2027 年 12 月 31 日までに弘前大学附属病院消化器血液免疫内科を初診し、原因不明発熱として外来および入院にて精査・加療を受けた方

利用させていただきたい試料・情報について

（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

当院のカルテに記録されている情報のうち、下記の 、 、 について、標記研究のために利用します。

臨床背景因子・臨床検査所見

性別、発症時年齢、受診時年齢、入院の有無、入院症例の場合は入院期間、発症から診断までの期間、確定診断、発症から診断までの期間、診断までの要した検査の種類および結果、発熱期間、熱型、周期熱の場合は発熱の頻度、発熱以外の臨床症状、家族歴、社会背景、既往歴、CT 及び PET-CT 施行の有無および結果、末梢血、生化学データ、リウマチ因子、抗核抗体、CRP、体温、自己抗体の有無、HLA、MEFV 遺伝子解析

投与薬剤情報

診断確定後の治療経過（投与薬剤の種類・投与量・投与方法・投与期間、その他併用薬剤）およびその後の臨床経過

臨床経過

発症から当科受診までの経過、診断確定までの経過、診断確定後の治療経過

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	弘前大学大学院医学研究科・消化器血液免疫内科学講座 櫻庭裕丈 0172-39-5053
-------	--